

児童・生徒の実態

- ・ LDと診断されており、発達にアンバランスが見られ、読み書きが困難である。
- ・ 集中力が途切れると、寝入ってしまうことが多い。通級指導教室に通っている。

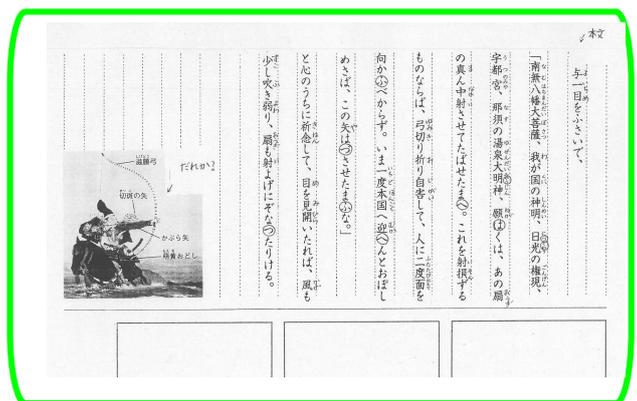
☆手立て

授業（特に国語・社会・英語）では学校生活支援員が、長文を読んだり、説明を加えたりすることで本人の理解を促している。居眠りを始めたときも刺激を与えたり、体調が悪いときは休ませたりと臨機応変に対応している。

テストは別室で実施し、難解な長文は学校生活支援員が説明を加える。問題用紙もルビ打ちをしたものを準備し、本人が意欲的に試験問題に取り組めるようにしている。

授業でのワークシートは、必ずルビ打ちをしたものを準備し、文章が多い教科は図や絵を入れるなどの工夫を行った。

話を聞くことはできるので、細やかな声掛けや指示を行うようにした。

支援を受けてみて

- ・ 個別にアドバイスをしてくれて分かりやすく、忘れていたことも思い出すことが多くなった。テスト問題の意味や難しい言葉を教えてくれるので、あきらめずに解いてみようと思うようになった。